

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成28年8月12日(2016.8.12)

【公開番号】特開2016-13531(P2016-13531A)

【公開日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-006

【出願番号】特願2014-137858(P2014-137858)

【国際特許分類】

B 08 B 5/02 (2006.01)

B 01 D 46/52 (2006.01)

【F I】

B 08 B 5/02 Z

B 01 D 46/52 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月22日(2016.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

清掃対象物の表面に付着した付着物を除去する付着物除去装置において、
加圧された気体が充填される蓄圧部と、

前記清掃対象物に向けて前記気体を吹き出す噴射口を有する加速装置であって、前記蓄圧部から放出された気流を絞る絞り部、当該絞り部のうち最も流路断面積が縮小したスロート部から噴出された気流を膨張させる膨張部、及び前記スロート部を開閉する弁部を有する加速装置と

を備えることを特徴とする付着物除去装置。

【請求項2】

前記蓄圧部と前記絞り部とは、常に連通していることを特徴とする請求項1に記載の付着物除去装置。

【請求項3】

雰囲気中の粉塵を除去する集塵装置において、

取り込んだ雰囲気中から粉塵を除去するフィルタと、

前記フィルタの表面に付着した粉塵を含む付着物を除去する付着物除去装置とを具備し、

前記付着物除去装置は、

加圧された気体が充填される蓄圧部、並びに

前記フィルタに向けて前記気体を吹き出す噴射口を有する加速装置であって、前記蓄圧部から放出された気流を絞る絞り部、当該絞り部のうち最も流路断面積が縮小したスロート部から噴出された気流を膨張させる膨張部、及び前記スロート部を開閉する弁部を有する加速装置

を備えて構成されていることを特徴とする集塵装置。

【請求項4】

清掃対象物の表面に付着した付着物を除去する付着物除去方法であって、

気流を音速以上又は亜音速まで加速し、当該加速された気流を前記清掃対象物に向けて噴射することを特徴とする付着物除去方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載された付着物除去方法を利用した付着物除去装置であって、
前記清掃対象物に向けて前記気体を吹き出す噴射口を有する加速装置であって、気流を
絞る絞り部、及び当該絞り部のうち最も流路断面積が縮小したスロート部から噴出された
気流を膨張させる膨張部を有する加速装置
を備えることを特徴とする付着物除去装置。